

平成29年度医学部入学定員の増員に係る各大学の取組の概要

○ 地域枠

大学名	平成28年度定員	平成29年度増員計画		平成29年度定員(計画)	平成29年度増員計画
		都道府県(※)			教育内容の概要
[国立]					
長崎大学	123	2	長崎県2	125	福祉系大学とも連携しながら、入学当初から地域包括医療・ケアの現場で学ぶ網羅的・体系的なカリキュラムを提供しており、4年次からの臨床実習では離島・へき地医療実習、本土での地域病院実習と地域包括ケア実習を全て必修としている。平成28年度から初期臨床研修マッチ率が低迷し、医師不足が深刻な県北部病院で臨床実習を開始した。今後は県内全域での地域医療教育へと発展させ、より広域的に質の高い教育を行う予定である。
[私立]					
埼玉医科大学	127	1	埼玉県1	128	低学年における早期体験実習（障害者・高齢者医療を担う地域の関係施設での実習）、行動科学・キャリア教育、調査解析・地域体験実習、地域基盤型専門職連携教育（地域医療・チーム医療に関する講義・実習）、および高学年における地域の学外施設における診療参加型臨床実習を段階的に行い、それらの教育を通して、地域医療に熱意と理解をもち、プロフェSSIONナリズムを備えた優れた臨床医の育成を目指す。
順天堂大学	130	7	埼玉県2 静岡県5	137	地域枠学生については、本学独自のカリキュラムを策定し、小児科・産婦人科・救急・地域医療等の各領域で実習を行う。6年次には将来の進路となる地域医療等の診療を体験し、初期および後期臨床研修に繋がる学生インターンシップ実習を行うなど、6年間を通じた実習を実施する。また、地域枠卒業生との情報交換会を開催し、地域医療の現状やキャリアプランについて教員と卒業生が一体となり、きめ細かく指導する体制となっている。
日本医科大学	116	2	埼玉県2	118	本学では、地域医療実習を入学後から段階的・有機的に関連付け、効果的に実体験している。1・2年次「医学実地演習」では、地域医療を担う病院や介護・福祉施設での体験実習を行っている。3年次「臨床医学総論」では、医師会や家庭医の協力を得て地域医療・在宅医療を学ぶ。6年次「選択臨床実習」では、地域医療の現状や課題、必要性等を学ぶ。地域枠学生は別途、地方自治体における体験実習の機会も設けている。
川崎医科大学	120	6	静岡県5 長崎県1	126	1、2年次の総合福祉施設や附属病院での早期体験実習を通し、介護・福祉への理解を深めると共に「良医」を目指す姿勢を学ぶ。4年次は地域医療・在宅医療等の講義の受講、5、6年次の臨床実習では救急車同乗実習等の救急現場の実際、県内外の地域医療機関での医療の実態や社会のニーズと地域医療とそれを担う医師のあり方を学び、地域医療に貢献できる「良医」としての心構えを確立する。地域枠学生には別途、学年縦断の「地域医療ゼミ」や特別講義、地方自治体による研修の機会を設けている。
合計		18			

(※)「都道府県」欄は、奨学金を負担する都道府県。大学の所在県と異なる県には下線。